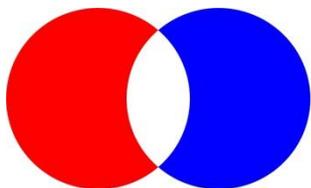


朱色



目次	P1	事務局通信 1 新春交流会	事務局統括幹事：後藤和晃
	P2	事務局通信 2 追悼！瀬尾文子さん	
	P3	活動報告 会計報告	
	P4	韓日歴史文化フォーラム お知らせ	
	P5	高句麗・旧満州国 旅行日程	
	P6	瀬尾さんによる韓国現代の愛の時調	
	P7	会員の広場	
紺青	P8	二日市氏 近況 編集後記	

◆ 事務局通信

事務局統括幹事：後藤和晃

1. 会話が弾んだ新春交流会 ～ 創立 15 年目に集う ～

1月14日名駅東のイタリア料理店ゼンゼロで、恒例の新春交流会を開きました。当日は、事務局の予想を超えて62名もの方々に出席していただきました。会の顧問や協力者、会員（日本人、韓国人）、留学生などで会場では終始、会話が弾み交流の熱気が盛り上がっていました。参加できなかった皆さんのために多彩な顔触れの一部をご紹介しますおきましょう

まずは株式会社琥珀の会長で、会の顧問を永年お願いしている鄭煥麒（チョン・ファンギ）さんです。去年米寿を祝ったというご高齢を押して出席いただき、祝辞を述べられました。お話のポイントは次の通りです。

「皆さん、創立15年目、おめでとう！皆さんの団体は、創立いらい日本人と韓国人の草の根の交流をしっかりと続けてきましたね。永い間、交流の試みを続けてこられた理由は、皆さんがなるべくお金のかからない日韓交流の形を工夫し、実践してきたからだと考えています。ぜひ、これからも日韓交流のためにがんばって下さい！！」

その他の出席者もご紹介しましょう。会の顧問で、元中日新聞のソウル支局長、今は名古屋ドームの役員となっている石原俊洋さん、



やはり顧問で、大宇ジャパン名古屋の李尚勳（イ・サンフン）課長—李さんは1997年の一年間、名古屋国際センターから委嘱された“民間大使”として韓国理解講座を開くなど活躍した人です。その理解講座の参加者が立ち上げたのが日韓市民ネットワークでした、さらに愛知韓国人経友会の元事務局長の金龍鐘（キム・ヨンジョン）さん、愛知民団の事業部長の金栄一（キム・ヨンイル）さん、光ファイバー関係の会社を、日米中で展開するサンテック社の鄭禧昇（チョン・ヒスン）さん、滋賀県立大学教授の田中俊明さん、日比谷高校の教員、武井一さん、前の津島市長の三輪優さん、戦前の朝鮮や満州で幼年時代を送り、敗戦で帰国してきた大久保孝造さんや長澤進さん、弟さんが戦前に日朝の架け橋となって活躍した日本人、浅川巧の映画化に係っているという李純子さんなどなど多士済々の方々でした。交流会の席上、私は次のような内容の挨拶をさせていただきました。

『2月7日が来ますと、私たちの会が、なんと15年目を迎えるということになります。





会を立ち上げたのは、1998年の2月でした。当時は日本と韓国の間には、まだまだ、よそよそしい雰囲気は漂っていて、市民交流の兆しは、ほとんど無い時代でした。そんな中で私たちの団体は“無謀にも”市民交流の旗を掲げたのです。第1回の総会で私たちは次の様に誓いあいました。

“韓国の市民や学生に交流を呼びかける以上、どんなに困難なことがあっても最低3年でできれば5年間は活動を続けよう！！”という誓いでした。その5年を大幅に超え、15年目を迎えるとは会員の皆さんも感慨一入（ひとしお）のことでしょう。そして今、創立時代とはうって変わって、韓流ドラマやKポップがブームになっています。韓国に対する関心は何十倍も高くなってきています。ただ惜しいことに大方の人々の関心の的は、まだ韓国の俳優や歌手の周辺に集中していることです。学生や市民たちの日韓交流の波が起きて来るまで、私たちの団体ももう少し頑張っていきたいと思

2、追悼！瀬尾文子さん

新春早々、会員の訃報が届きました。永い間、ガンと戦いながら韓国の定型詩、時調の翻訳に励み、その成果を著書として出版し続けていた瀬尾文子（85歳）さんが亡くなられたというものでした。瀬尾さんについては、去年9月発行の会報57号で中日新聞の「ひと」欄に載った記事を紹介しました。また2009年2月の会報45号では、彼女の時調の翻訳に対し、駐日韓国大使から感謝状が送られたという記事も掲載していますので、名前を記憶されている方も少なくないでしょう。

いずれにしても生まれ育った韓国の人と文化を愛し続けた瀬尾さんの人生を振り返り、追悼の気持ちを表したいと思います。

瀬尾さんは1927年（昭和2年）に朝鮮で生まれました。女学校で学んだ後、国民学校の先生と



ます。今年は8月に光州から学生訪問団がやってくる予定です。この夏も彼らと、ぜひ良い交流のひとつきを過ごしたいと思います。会員の、皆さんのご支援を、宜しくお願いします。』この日の集いの最後は大合唱で盛り上がりました。日本語の歌詞を韓国語に翻訳する特技の持主の岡村成二さんの指導で、日本の歌「故郷」を韓国語で、アリアンを日韓両国語で歌い上げ、新春交流会を無事、終えました。



なり、朝鮮人の子どもたちに日本語を教えます。そして昭和20年8月、日本の敗戦と共に、町ごとに見慣れない記号のような文字を使った壁新聞が張り出され、瀬尾さんは大きな衝撃を受けます。「あっ、朝鮮には朝鮮独特の言葉だけでなく特有の文字もあったのか！？それも知らず、私は朝鮮の子たちに無理やり日本語を押しつけていたのか…何と罪深いことを……」罪の意識を持ちながら帰国し、主婦となっていた瀬尾さんは、1965年（昭和40年）、名古屋に韓国学校が開校し、ハングルの授業を受けられると聞いて、矢もたてもたまらず入学します。ハングルを学ぼうと、短歌のたしなみがあったことから「韓国の短歌」とも言える時調に着目、研究から翻訳への道をまっしぐらに進んだのです。

彼女が時調翻訳の恩師として選んだのは、韓国大邱市に住む韓国時調学会の会長沈戴完（シムジェワン）博士でした。「沈先生との最初の出会いの時に、私の後半生の運命は決まってしまったの！」瀬尾さんは、よく、そう述懐していました。

沈博士は日本から、はるばる訪ねてきた瀬尾さんに「貴女は時調を日本語に翻訳して出版したいそうだが、何年でそれをやり遂げるつもりですか？」と聞きました。一日も早く本を出したいと思っていた彼女は「3年か4年のうちに」と答えたそうです。沈博士の言葉は穏やかな口調であっても厳しいものでした。「私が時調を現代の言葉に移しかえるのに何年かかっただと思います？20年、20年かけたんですよ！」この言葉に一瞬、息を飲

んだ瀬尾さんは次の瞬間、こう叫んでいたそうです。「先生、やります！私も 20 年かけて、しっかり日本語に翻訳する仕事に取り組みます！」

その日から瀬尾さんは 20 年以上の歳月をかけて翻訳を続け、大邱の沈博士の監修の下について大著「時調四四三首選」～1997 年刊～の出版にこぎつけるのです。その間、日本では民団顧問の琥珀会長、鄭煥麒さんが、瀬尾さんを激励し続けられました。

瀬尾さんの快挙の蔭に沈博士と鄭煥麒会長というお二人の韓国人の心強い支援があったことを、私達もしっかり記憶しておきましょう。

私たち会員にとって鑑（かがみ）とも言える瀬尾文子さん、安らかにお眠りください。

※大邱からの便りでは、沈戴完博士も去年の秋、逝去されたそうです。

◆ 会の活動報告



(1) 話してみよう韓国語・日本語第 2 回愛知大会

～ 1 月 7 日・名古屋国際センター ～

去年に引き続き、実行委員会に加わり、大会運営の一躍を荷いました。実行委員長をつとめたのは、当会の学生部長でもある名大生の鈴木健介君で、事前の準備から当日の運営まで着実に重責を果たしていました。

「話してみよう韓国語大会」は、これまで全国 10 都市で開催されてきましたが、愛知大会だけは韓国人留学生を対象にした「話してみよう日本語」

部門を設けています。

これは、言語を通じた日韓交流を、草の根の立場から果たしたいという実行委員たちの強い思いから実施されたとのこと。

因みに「話してみよう日本語」で、最優秀賞に輝いたのは、ここ 2 年ほど当会のイベントに欠かさず出席している名大の女子留学生、ユ・ミンジュさんでした。

(2) 日韓新春交流会 ～ 1 月 14 日・琥珀ビル ～

事務局通信で詳しく報告しましたので、ここでは当日の会計報告と頂いた寄付について報告致します。

1 収支報告 ***** 残高 ￥50,500

収入	会費	200,000	支出	ゼンゼロ	200,000	差引残高	
	5000 * 37			名札補充	1,500		
	2500 * 6					ネット会計へ繰入	
	寄付金	52,000					
	計	252,000		計	201,500	残高	50,500

2 寄付・寄贈品 ***** 計 ￥52,000

顧問	李尚勳	5,000	会員	鵜飼 満	5,000	夏目玲子	3,000
	石原俊洋	焼酎2本		大久保孝造	5,000	野村博司	5,000
協力者	金龍鐘	10,000		後藤和晃	日本酒	関係者	
	鄭禧昇	5,000		堺澤一生	3,000	柳原恵子	3,000
				土岐良文	3,000	山田伸子	5,000



皆様の温かいご厚志に心より感謝申し上げます。

なお匿名の方から 10 万円を夏の光州訪問団接遇費用へのご寄附として、お預かり致しました。新春交流会の残高とあわせネット会計に繰り入れさせていただきます。有難うございました。

(3) 韓日歴史・文化フォーラムで朴天秀教授が講演

～ 1月20日・愛知民団 5F ホール ～

第27回のフォーラムには、著名な講師への期待で100名をこえる聴衆が詰めかけました。講師は私たちの団体と友好関係にある、韓国の国立慶北大学で考古学を教えている朴天秀（パク・チョンス）教授でした。現在、進行中の日韓交流史講座では、伽耶紀行と新羅紀行の双方ともに現地へ同行解説をしていただき、その情熱的な話し振りでファンになった会員が多数います。今回は「新羅と倭」をテーマに、古代には互いを敵視しあっていたとされる両国が、実は鉄や翡翠(ヒスイ)の交易を軸に、実質的には深い隣人関係を築いていたとの見方を発表されました。

講演会のあと近くの韓国料理店で朴教授を囲んで懇親会を行いました。20名をこえた参加者の大半が当会のメンバーでした。



◆ お知らせ

(1) 第15回総会のご案内

日時 2012年3月18日(日) 10:45～
会場 名古屋国際センター4階第3研修室
交通 地下鉄桜通線国際センター駅下車
名鉄・近鉄・JR名古屋駅からユニモール地下街通り徒歩15分

御注意 当日は10時半頃まで会場で日韓交流史講座が開かれています。講座を受けていない皆さんは、10時半過ぎから10時45分までの間に会場にお入り下さい。この一年の間に入会された皆さんは、できるだけ総会に御出席ください。

(2) 2012年度の会費をお願いします。

年度会費	一般 4,000円 学生 2,000円
納入方法	同封する振替用紙に住所氏名を記載の上、郵便局で振込をお願いします。 振替用紙を無くされた方は、下記の口座番号でよろしく！
加入者名	日韓市民ネットワーク・なごや
口座番号	00830-4-36485

(3) 日韓交流史講座「高句麗・旧満州国」紀行

去年の11月からスタートした高句麗・渤海シリーズの総仕上げとして、5月27日から6月3日まで高句麗・渤海や旧満州国等の史跡を巡ります。主な訪問地は、大連、瀋陽、集安、長春、延吉です。

No	月日	都市	交通	時間	主要旅程	食事	
	2012年	名古屋		7:30	中部国際空港 旅客ターミナルビル3階 国際線出発ロビー		
			KE 752	9:25	中部国際空港発 11:25 仁川国際空港着	朝 (×)	
1	5/27		KE 788	10:30	福岡国際空港発 11:55 仁川国際空港着 西谷教授任		
	(日)		KE 706	9:25	成田国際空港発 11:50 仁川国際空港着 武井講師任		
		ソウル	KE 869	13:00	仁川国際空港発	昼 (機内軽食)	
		大連	専用車	13:20	大連国際空港着 専用車にて 金州の大黒山山城(卑沙城)	夜 (○)	
			宿泊(予定)： 金州				
		金州				朝 (ホテル)	
2	5/28		専用車		金州発～普蘭店・呉姑山城(巍霸山城)～	昼 (○)	
	(月)	大連			旅順(日露戦旧跡) 東鶏冠山・二〇三高地・旅順港	夜 (○)	
			宿泊(予定)： 大連				
		大連				朝 (ホテル)	
3	5/29		専用車		大連市内見学・港・ロータリー周辺建物群・旧ロシア街	昼 (○)	
	(火)	瀋陽	列車		旧満鉄・社宅等・営城子壁画古墳～列車にて瀋陽へ	夜 (○)	
			宿泊(予定)： 瀋陽				
		瀋陽	専用車		瀋陽～撫順(高句麗新城・漢玄?郡遺跡・張作霖陵等)	朝 (ホテル)	
4	5/30	桓仁			～桓仁(五女山城遠望・桓仁博物館・上古城子積石塚・	昼 (○)	
	(水)	通化			下古城子城跡)～通化	夜 (○)	
			宿泊(予定)： 通化				
		通化				朝 (ホテル)	
5	5/31		専用車		通化発～集安(好太王碑・太王陵・五号墓將軍塚	昼 (○)	
	(木)	集安			丸都山城・貴族墓群等)	夜 (○)	
			宿泊(予定)： 集安				
		集安				朝 (ホテル)	
6	6/1	(通化)	専用車		集安発～通化経由～長春(市内各所・吉林博物館・	昼 (○)	
	(金)	長春			長春駅 旧関東軍司令部・偽満州皇宮等)	夜 (○)	
			宿泊(予定)： 長春				
		長春	専用車		長春市内見学～長春空港へ	朝 (ホテル)	
7	6/2		CZ 3605	14:35	中国南方航空・国内線にて延吉へ	昼 (○)	
	(土)	延吉	専用車	15:25	着後、周辺史跡(城山子山城等)	夜 (○)	
			宿泊(予定)： 延吉				
			専用車		ホテル～(朝鮮族博物館等)～延吉国際空港へ	朝 (ホテル)	
		延吉	KE 826	12:05	延吉国際空港発 15:30 仁川国際空港着	昼 (機内軽食)	
8	6/3	ソウル	KE 751	19:00	仁川国際空港発		
	(日)		KE 781	18:30	仁川国際空港発 19:50 福岡国際空港着	夜 (機内軽食)	
			KE 705	18:35	仁川国際空港発 20:55 成田国際空港着		
		名古屋		20:50	中部国際空港着		

4 瀬尾さん回想 ～現代韓国「愛の時調」

瀬尾さんは古典的な時調だけでなく、現代の詩人の筆になる現代時調も意欲的に紹介されました。そこから3つの作品と、瀬尾さんの感想や共感をこめて歌った短歌を味わってください。

太陽が昇る

キム・ムノク

最初のデートで
抱きついてきて倒れこみ

美しい色彩で
僕の全身を染めた君

いまでも 消えない太陽が
胸の中で燃えている

[鑑賞] 最初のデートで、女に染まってしまった男の時調。初のデートで女に抱きつかれ、倒れこまれて、美しい色彩で全身を染められた男の、恍惚たる幸福感が見えてくる。この女性の情熱たるや凄い。それから歳月が流れても、彼女は消えない太陽となって、作者の胸の中で燃え続けているのである。この時調から筆者は、画家の亡父との、最初のデートを想い出した。胸がドキドキしていた。その時を反歌に付す。

胸が鳴る初のデートの喫茶店
君はコーヒー私はあんみつ 瀬尾文子

再び逢いを

キム・キョンジャ

臉の奥にありありと
面影を残したままの

君の手の銀の指輪が
すり減って光っていた

透きとおる紗の衣にも
胸が波立ち傷む

[鑑賞] 再び逢いたい女性に、捧げる時調。まぶたの奥にありありと、面影を残したままの、君の手の銀の指輪が、すり減って光っていた。「銀の指輪が、すり減って光っていた」のは、夫婦だったのだろう。「透きとおる紗の衣にも胸が波立ち傷む」。透きとおる、うすぎぬの衣を見ても、君の姿がよみがえり、胸が波立ち傷むのだ。君、帰りこよ、との意味。この時調から筆者は、亡父の画室跡地の、虫の音に誘われて、心に残る灯の窓を、外に出て仰いだときを、反歌に付す。

亡き夫の画室跡にて鳴く虫に
出で立ち仰ぐ胸の灯の窓 瀬尾文子

冬の山鳥

キム・ナムファン

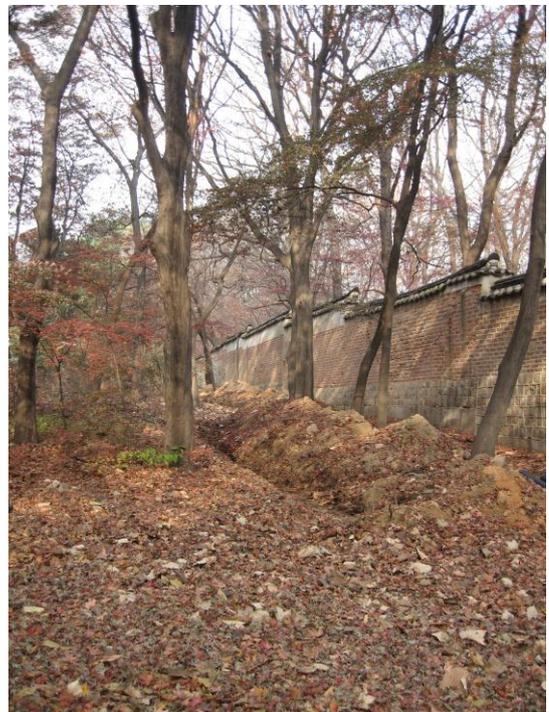
厳しい冬のさなか
寂しい小径を辿れば

不意に耳に響く
澄みとおる鳴き声

青い夢を残して去った君
山鳥になり来ているのか

[鑑賞] 作者は女性。大學入学式を目前に、南進してきた北軍に曳行され、二十歳の生涯を閉じた恋人を想う時調。厳しい冬のさなかに、寂しい小径を辿っていると、不意に耳に響く、澄みとおる鳥の鳴き声。一羽の鳥の声が印象的。青い夢を、残して去った君、山鳥になり来ているのか。「青い夢」とは、二人の幸福の夢。南北動乱で、青春を壊された時調から、世界の平和を祈る反歌を付す。

人と人なかよくなって国と国
なかよくなるう円い地球よ 瀬尾文子



会員の広場 회원마당

こちらでは会員の皆様の声を載せております。
皆様から、「会員みんなに伝えたい!」「韓国のここが好き!」は勿論、
「こんな旅行して来た」も、日々の暮らしの様子などの皆さんの声を
是非、お送り下さい。

〈 日韓ネット・ホームページ交流館投稿記事より〉



昨夏の高麗訪問団一行中、我が家にホームステイされた愛称・ミンレさんが、この度、名古屋大学の日中韓協定校間連携・大学院生指導交流プログラムの招待で来日されています。そこで昨夜は彼女の歓迎会をしました。私一人では心もとないので GON 様、KISOMITAKE 様、S・M 様にも手伝って頂きました。この招待を受けるにあたっては、彼女の研究テーマ「大正時代における日本の家庭教育」が面白く興味を引いて選考されたそうです。さすがの賢女、頑張ってますね～!ミンレの大活躍に心から拍手を贈り、またの再会を約束しました。写真は KISOMITAKE 様から提供、皆さま、有難うございました。

(2012, 2, 9 by Miruho)

ひっそりと 通り雨きて
我が胸の
想いことごと湿らせてゆく

昨夜見し
夢の世界へ いま一度
帰るすべなき 今朝の悲しみ

でたらめに ダイヤル押して
知らぬ人と
話してみたき 秋の夕暮れ

真夜中の
エレベーターに乗り合いし
酔った女の化粧悲しも

カストルのあと追い
ボルックス 星となる
冬の夜空の物語かな

目を閉じて
座っていればいつとなく
君前に立つ そんな気がする



短歌 浅井 郷士

韓国に12年間いたあと、家内の出身地の北海道東部・屈斜路湖畔に住みついて早や5年半、だが、いまでも韓国との縁は続いている。KBS=韓国放送公社日本語放送のニュースの校閲や書き直しの仕事を、メールを通じてほぼ毎日させてもらっている。頼られていると思うと、断ることなどできない。ありがたいことです。

その仕事を通じて感じる最近の韓国は、日本よりは経済がましな反面、経済格差が広がり、若者の就職が厳しい状況にあることだ。去年10月のソウル市長選では、有権者の既成政党ばなれで、革新系無所属候補が与党候補を抑えて当選した。そしてことし4月の総選挙は、野党の民主統合党が勝ちそうだ。民主統合党というのは、前の民主党のことで、与党ハンナラ党もセヌリ党に党名を変更した。韓国の政党は支持率が落ちると党名を変えると、ウォールストリート・ジャーナルに批判されたが、背に腹は代えられない。

国会で与党が多数を握れなければ、李明博大統領は任期10か月あまりを残して死に体となる。ことし暮れの大統領選挙は候補者個人の評価が問われるが、野党勢力が有力な情勢の中で注目を集めているのが、ソウル大教授の安哲秀氏だ。この人が立候補すれば大勝することは間違いないと考えられ、これまで本命視されてきた朴正熙元大統領の長女の朴槿恵氏も勝ち目がないとみられている。李明博大統領によって保たれてきた良好な日韓関係は、またも盧武鉉大統領時代の緊張した状況になるのだろうか。竹島(独島)、慰安婦、教科書の問題は、韓国側がその気になれば、いつでもむしかえすことができる。

大分の古代朝鮮研究誌への「イ・サン」の寄稿がもとで、去年は北海道でも地域のサークルから韓国についての講演を3回させてもらい、家内もキムチづくりのコツを指導したり、グループでソウルへ旅行して韓国のなつかしい友人と会って親善の輪を広げている。

北海道東部は雪は少ないものの今年は冷え込みが厳しく、2月3日には近くの川湯で氷点下27.6度を記録。でも1978年2月25日の氷点下34度の記録には及ばない。写真は2月6日、わが家の前で私。遠くに見える屈斜路湖は完全に凍結していますが、その手前には家内の叔父が経営している温泉ホテルがあります。名古屋の人、大歓迎します！



編集 後記

今年も2か月がたとうとしています。昨年の大災害の重い気持ちを引きずったままただただ春のくるのを待つこのごろです。

それにしてもこの冬は寒かったですね。亡くなった母が大切に育ててきたむくげの葉が雪ですべて枯れました。春にはもう一度芽吹いてくれるでしょうか。

3月の終わりごろ奈良白毫寺では五色椿の花が咲きます。その多彩な花が苔の上に落ちるころ山辺の道は桃の花が咲きほこります。今年はいつもの年以上にその季節を待ち焦がれます。

日韓市民ネットワーク・なごや
会報：第59号
発行：2012年2月19日
編集：浅井郷士